

## 2020年度 小児看護学Ⅰ オリエンテーション

担当教員：二宮球美、松岡聖美、

\* メヂ：メヂカルフレンド社テキスト、メデ：メディカ出版テキスト、看護過程：小児看護過程

授業	授業日	授業の目標	参考ページ、資料	備考
1	5/12	小児看護学概論、小児とは、子どもの権利と家族、子ども虐待の理解ができる(二宮)	メヂ第序・2・5・7V章	オリエンテーション掲示板
2	5/19	Physical Assessment が説明できる(松岡)	メヂ第6章IV, ②第3章IIIIV	①看護過程事例提示 or 掲示?
3	5/26			
4	6/2	子どもを取り巻く社会、小児の観察、成長発達の一般原則と評価を理解できる(二宮)	メヂ第序・2・5・7V章	②子どもの遊び動画提示
5	6/9	小児に関わる理論(松岡) teamsもしくは Class NotebookによるGW	メヂ第4, ②1 I・II章	事前課題あり
6	6/16	子どもの遊びと行動 動画提示により個人W、GW	Office365のteams利用のGW	②の個人Report 締め切りこの日の9時まで。これをベースにGW teams その他媒体は何でも非対面予定
7	6/23	看護過程演習1事例の情報収集を体験する 看護過程演習①事例のassessment(成長発達) ②事例のassessment(現症)を体験する(二宮、松岡)③	Office365のteams利用のGW、個人ワーク	①の事例において事前の個人W、講義時間中はGW 記録メールか Campus Square 提出、最終は掲示板に教員が考えたassessmentと問題を掲示予定
8	6/30			
9	7/7	子どもの健康と保健を理解する(二宮)	メヂ第7②5XVII章メデ2	看護過程個人W提出 ③Preparation 事例提示 or 掲示?
10	7/14	事例によるケアの行動計画から、Preparation、倫理、看護技術を考える	メヂ②第3章IIIIVメデ192-207, 225-231, 173-183 メデ54-67	Report、HPよりdownload 事前学習後演習に臨むこと Office365のteams利用のGW
11	7/28	健康レベルに応じたFamily Centered Careを理解する(二宮)	メヂ②第1・7章	事例により患児とその家族とともにケアを考える
12	8/4	運動機能障害の観察の視点、ハンディキャップのある子どもへのCareを理解できる(二宮)	②第VI, VIII, XV章	
13	8/11			

\* 使用テキストはシラバス参照、その他文献に関しては授業の都度紹介していく。Campus Square 掲示板使用

\* 小児看護学は、既修専門科目及び既修共通科目と関連しているため、既修科目との統合をはかっていく事、そのため事前学習および事後学習が必要となる(電子辞書、その他の関連文献などの持ち込みは可)。

\* 3年次の看護統合演習、小児看護実習で、小児看護学の理論と実践との統合をはかる

\* 印刷教材、事前課題は Campus Square に掲示、課題提出も Campus Square を用いて行う予定である。

## 2020年度 小児看護学Ⅰ オリエンテーション

担当教員：二宮球美、松岡聖美、

\* その他講義形態の変更等は、大学のHPやCampus square等で指示をするので、確認すること。

### 詳細はシラバス参照（成績など評価の変更を行っている）

\* 成績に関しては毎回の確認テスト及びReport内容で行う。

\* 13回の講義となることから、事前事後学習を積極的に行い、指定の教科書及び印刷物については熟読し復習終了後には理解できるレベル、学期終了時には使える知識にすることを目標としてください。

### \*参照 DVD

- 
- DVD 1 赤ちゃんの一生 0～6ヶ月  
 2 赤ちゃんの一生 7～12か月  
 3 新生児・乳児の呼吸理学療法 リハビリテーション医学  
 4 こどものphysical assessment III  
 5 こどものphysical assessment IV  
 6 小児看護技術 乳幼児の臀部浴と上半身清拭  
 7 アタッチメント  
 8 摂食嚥下障害 リハビリテーション医学  
 9 小児の発達障害 リハビリテーション医学  
 10 小児疾患のリハビリテーション リハビリテーション  
 11 運動器のリハビリテーションⅠ・Ⅱ リハビリテーション医学  
 12 小児への経口与薬 乳幼児編 医学映像教育センター

その他 解剖・生理・生化学・看護技術などのDVDも学修してください。上記は図書館内DVDです。

\* 丸善など図書館より教材やビデオの無料視聴等ができます。

加えて、4月11日付で連絡しておりましたリモートIDを追加いたしましたのでご連絡いたします。

また、出版社等から無料公開されている資料等につきましても併せてお知らせさせていただきます。

添付ファイルにて利用できるサービスリスト（ファイル名：リモート教材リスト【更新：R02.04.23】

各アドバイザーの先生からIDがメールされるはずですが、確認してください。

### \* プレパレーション課題

Group編成及び参考文献については別途提示する。本年度は、groupでの年齢及び場面及び内容を指定している。Reportとして①事例の背景②プレパレーションの目的・目標③プレパレーションの内容（安全、安楽、倫理など）④プレパレーションの実際の計画⑤プレパレーションの評価

Preparationの実際は、3年次看護専門演習Ⅰで行うため、基本的な考え方や他者の看護感などを学びあうことも今回の目的に含まれている。\*講義10回目に③の詳しい設定提示 概要は以下の通り。G分けは別途掲示。①採血の場面 1歳児男性 ②採血の場面 5歳児 ③喘息発作の治療の吸入の場面 5歳児④喘息発作の治療の場面 8歳 それぞれの場面には、保護者が存在します。ケアするのは幹事及び保護者と考えて計画してください。看護過程で学んだプロセスをたどり、ケア内容観察項目、実施項目、教育項目に分けて、どれかをフォーカスして実施の行動計画を立案してください。

**\*子どもの遊びの課題 動画のどの場面かを切り取り【学生さんたちが見ることが可能な動画を後日指示します】**

①遊びの観察1場面 遊びの様子を運動機能、言語機能、社会機能をもとに観察し、客観的に他者へ伝えるように記載し、予測年齢を記載しその根拠を記載する。

## 2020 年度 小児看護学 I オリエンテーション

担当教員：二宮球美、松岡聖美、

②このような子どもへの実際にアプローチするためには、どのようなタイミングでアプローチすべきか、その結果子どもはどのような反応が得られると考えているのか。を communication 理論を使用して記載すること。